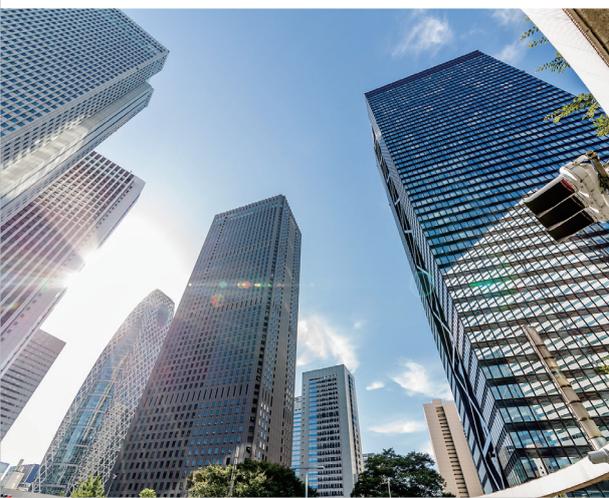


みえる成果 ひろがる共感



社会的インパクト評価・サポートプログラム

みなさんの事業は、どのような意義があり、どれくらい社会にいい影響を与えていますか。また、その成果をしっかりと説明できていますか？

近年、「社会的インパクト評価」が注目を集め、NPOや地方公共団体の事業が生み出す「価値」を可視化しようとする機運が高まっています。

“Social IR”は、社会的価値だけでなく、経済的価値にも焦点を当て、その両面から事業評価を行うプログラムです。また、成果基準が明確になるため、新しい事業や施策を設計する際にも活用できます。

私たちが提案する新しいサービス
It is a future service that we propose.

Social IR

“Social IR”は、
Social Impact (社会的な影響)を最大化し、
Social Return (社会的な価値)を高めます。

“Social IR”のベースには、“SROI (Social Return On Investment)”の理論があります。投入した資金によって、どのくらい社会問題が解決したのか、貨幣価値換算を通じて経済的・社会的成果を明らかにする手法です。つまり「投資(寄付)した●円が、社会に対して■円の価値になって還元された」と説明することが可能になります。

※日本でSROIが活用された事業事例…若者の就労支援、被災地支援、環境保全活動など

事業活動の効果を最大化する

特徴

- 1 事業の経済的・社会的な効果を可視化・数値化できる
- 2 数値化された効果を金銭換算化することにより費用対効果を算出できる
- 3 事業評価の過程で多様なステークホルダーの見解を把握できる
- 4 事業の価値と課題を共有できるため、マネジメント改善ができる
- 5 成果基準が共有され明確になり、新しい事業や施策を設計する際にも活用できる

対象 ▶ NPO等の非営利組織、地方公共団体、助成財団など



経営戦略アテンダント 友田 景(ビズデザイン大阪 代表取締役)



VOICE

被災地支援の課題が見えた

被災地支援事業に関してSROIを用いた第三者評価をお願いしました。ビズデザインの皆さんは、当初から難しいといわれていた「被災者一人一人のエンパワメント」というソフト支援の分野について、私ども関係者への丁寧なヒアリングと、経験に基づいた周辺環境の調査を通じて、評価の指標を立て、丁寧な視座を下さる進め方が印象的でした。評価結果だけでなく、そこに至る過程でのさまざまな議論を通して、どのような点に課題があり、或いは、どこにリソースを集中するべきかという“学び”をいただきました。

日本マイクロソフト株式会社 政策企画本部
渉外・社会貢献課長 龍治 玲奈様

SROIで事業の価値と目標を共有

SROIは、ステークホルダーの変化に着目することから事業(活動)の成果が0か1かだけでなく、途中の段階も視覚化することができ、事業のベンチマークを設定することに大変役立ちます。そのため、社員間で事業の価値や目標を共有するツールとして有効であり、マネジメント改善に役立ちます。また、SROIは、言葉で説明しづらい「変化」を定量化、貨幣換算化できることにより、ステークホルダーへの説明責任を果たせると共に理解の醸成を図ることができます。

認定NPO法人育て上げネット
理事長 工藤 啓様

まずはお気軽に
お問い合わせください

お問い合わせ窓口

広報協力

一般社団法人 リベルタ学舎

〒650-0033 神戸市中央区江戸町100番 高砂ビル601

✉ mirai@lgaku.com

☎ 078-599-9381